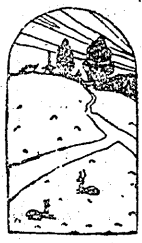


刊夕 日十月九

# 常磐毎日新聞

定価 一部全取 六分五厘 郵費別  
廣告料 五號十二字 第一行 五分 五號  
日曜 祭日の 日休 休刊  
印刷所 常磐毎日新聞社  
電話 六三〇  
社 常磐毎日新聞社



作 創

## 長恨

小倉 美智雄

「何希望? こいつは面白  
い、俺達仲間希望のある  
奴なんぞ一匹だつてない筈  
だ、良作どんな希望だ」  
「一人前になる希望だ」  
「アハ、ハ、ハ、一人前?」  
「そうだ! 十五年も浮世  
のありとあらゆる仕事を仕  
盡して、今は此の工場に  
土工として居る此の身だ。  
親から貰つた大切な身體を  
何を好んでこんなに惨酷に  
するもんか、身から出た錆  
を洗ひ落して一人前になる  
迄は、兎も悪く思つて呉れ  
るな、俺は外見もしいいで  
働く心算なんだから……」

## ノード

お會式の  
萬燈には  
紙製の櫻  
花が付きものだが之は祖  
師日蓮上人が入滅の時に  
咲いたといふ池上の櫻を  
象つたもの。

「良作はどうかして居るぞ  
勝手にするが、いや、おい出  
掛けやう」  
(七)

昨夜からの雨はジメ  
と人の氣遣に減入らして行  
く、何時になく浪も荒く磯  
に碎けて一丈も二丈も飛沫  
を飛ばす凄さは亦格別だ。  
水平線は鋸の齒の様だ。  
沖は随分荒れて居る事だ  
らう。

こんな時労働者達には酒  
だつた良作の居る土工部屋  
にも一升瓶が二三本轉がつ  
て居る。  
土方殺すにや双物はいら  
ぬ。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁——さつま芋  
小付 らつさやう

【書】牛乳 バントーレスト  
フルーツ

【晩】野菜 ごつた煮

雨の十日も降ればよい  
隅の方から金切聲で唄が  
出た手も鳴つた。

「ア、こりや〜ウエーッ  
次は誰だ、唄も出せねえ様  
ぢや俺達仲間の面汚だぞ、  
誰だそつちの方に寝て居る  
のは、何、良作、仲間へ交  
せてやれ、おい良作こつち  
へ来い」

「嫌だよ」  
「又始めやがつた、良作の  
嫌だよは判つて居る、まあ  
酒でも呑め、そして唄でも  
出して見ろ」



子。を。歌。ふ。

芥川 晴二

子の爲には口さかまなき  
父となり己れ卑しむ時も  
ありけり  
兒の口に物やる時のほろ  
甘き乳の匂ひよ我が母を  
戀ふ器割りて強かぬ我な  
りし面影は子を持ちて知  
る今し我が知りつ  
片ときの暇ある時し息ぬ  
きて母はかくのごとく安  
くありしなむ

吾兒よ吾兒よいたすらに  
愛し時ありて煩ずりすれ  
ばあはれ泣くかよ  
食ひさば口には言はず兒  
がせがむ玩具與えて心足  
らひぬ赤き靴は嬉しから  
むよ足あげて父に見せつ  
ゝ兒は歩くなり

父我の食ひさは兒にな見  
せを抱えて歸るブリキの  
電車  
牛乳の熱さはかりて兒に  
吞ますおぼつかなきや病  
室の朝  
飢えて泣く兒をば抱きて  
玩具ふる哀しき音や秋ふ  
かき宵

病床に妻を起して髪をす  
く秋の夕べや我が太き指

### 看護婦急派

求めに應じ  
ます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

### 名城産 新鯉節大賣出し

味美 貝焼  
鯉しほから



店理代命生本日大最優最  
榮盛賀丁四平  
(三一電)目丁

### 靈効散 胃腸藥

ヨク  
キク  
秋は天高く馬肥えると申しますね。否馬ばかりではあり  
ません、人間も夏の炎暑から開放なつて食欲の増す時季  
でありますから、随つて健康な人は肥えて參ります。  
然るに不幸にして胃腸の弱い人は、此の自然の恩恵に浴  
す事出来ず益々弱つて行きます。左様な不幸な人を救  
ふには靈効散と言ふ靈藥があることを御存知ですか。三  
年五年の慢性胃腸病の全快した人は澤山あります。  
胃腸病、心臓病、肺、痔等を痛む人は明日と言はず今  
日直ぐ御試下さい。御望の方には御試用として見本を  
阿康藥局で差上ります。御遠慮なく御來局下さい。  
他店では見本上げません。是非左記へお出下さい。  
平町古鍛冶町縣社ノ下  
阿康藥局  
電話四四番  
振替口座三〇〇五番  
靈効散一手販賣

### 吸入用酸素純度99%

モノサシ  
マ  
ス  
計量器  
體温計  
寒暖計

### 関内藥局

電話四〇番  
秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス

寫真材料一式販賣致シマス

### 造花屋

花環  
盛花  
久壽玉  
御弔燈  
寶明燈  
神佛葬具  
靈柩自動車  
平新橋  
川本  
屋  
三六一電

### 久全屋商店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九  
□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は〆の生命なり

### 喜多流謠曲と仕舞の

お稽古を奨め致します  
平町田町六九  
喜多流 仕舞 白土會  
電話一二七番

# 政友派情勢

## 局面打開か

### 幹部動議を練る

政友派は昨報の如く候補者の入選を一任された最高幹部が鳩首協議を重ねた結果蓮沼、關内、田子、赤津の四氏を公認すべき方針にて小野晋平氏に向つて勇退を求め目下折衝中であるが本

# 坂本氏出馬

## 吉田氏は未定

### 民政派二名確定

候補者難に陥つた民政派は郡南から大平陸四郎氏を物色し頻りに折衝を試みたが起意なき旨を明らかにした爲め止むなく植田消防組頭坂本龜太郎氏にお鉢を巡し徳意に努めた結果昨夜漸く受諾の意を表すに至り同派は草野三郎氏と共に二名の立候補決定し残る萩原氏の後繼たる吉田寅之輔氏は未だ東京より歸郷せず同氏の起否は依然宙に迷つて居るが今明中には何れとも判明するであらう

# 吉田壽三郎氏

## 待機の姿勢

民政別派野崎氏の傘下として野崎氏と共に同別派より推薦を受けた四倉町吉田壽

# 埋立許可

## 小名濱地先

小名濱町字築町一番地先公有水面埋立の件は七日附内務省より認可された、同埋立は面積六千五百四十五坪内二千七百二十二坪を水深三米に浚渫するもので將來町營魚市場共同販賣所及附属建築物が造営される譯である

# 少年指導講習

渡邊訓導出席 縣主催少年團指導講習は來る十二日より六日間聯盟理事長三島通陽氏を講師として伊達郡靈山々上に開催されるが平赤十字少年團より渡邊敬治訓導が出席することに決定した

# 遞友勝つ

平營林署 チーム對遞友の野球試合は昨八日午後三時より平商球場で舉行されたが六對四で遞友勝つ

# 商業美術の粹

## 平商校名古屋へ出品

平商業學校商業美術部では名古屋市中開催の名古屋高商、商業美術研究会主催の實業教育五十週年記念第一回商業美術作品競技大會へ左記部員の作品を出品した (三年)岩崎久治郎(同)會田長太郎(同)中野義廣 (四年)橋本真吉(同)鷲昇 (同)松本真雄(五年)神谷忠雄(同)鳥越巖(同)伊坂

# 農林技師視察

既報 農林省柴戸技師は郡内小川江並に鯉川を八日より九日

に涉つて視察中であつたが本日終了福島に向つた今回は本縣農業水利事業視察のためである

# 平陽バザー

吳服商組合陳列 平町縣社飯野八幡神社例大祭は來る十四、五の兩日執行されるが平町吳服商組合では平陽女學校に開催され

# 郡の代表決る

## 縣下教員豫選へ

神宮競技出場の郡下教員陸上競技豫選は既報の如く定員未滿の爲め中止となつたので體協石城支部で協議の結果左の諸氏を推薦し來る廿九日福島市營グラウンドで舉行の縣下豫選に本郡代表として出場せしめることとなつた

# 農事評議員

平町諸 諸橋氏決定 橋久太郎氏は今回本縣農會評議員に決定された

# 平町人事

回出生 大町 淺沼未四郎氏二女 敬子 搔樋小路 當時京市中東野區向臺町玉橋濟氏二女 貴代子 仲問町一〇 馬場三郎氏 長女裕子 柳町八 渡邊洋氏四女和子 搔樋小路一七 海老原章四郎氏次男洋 丁目二五 西脇信一郎

# 薄葉技手榮轉

夏井 川改修事務所勤務本縣土木助手薄葉薫氏は此程技手に昇任滋賀縣土木課勤務に榮轉近日赴任すると

# 底曳漁船調査

石城 地方の底曳網漁船は目下禁漁期間にあり沈黙してゐるが愈々來月一日より禁漁期解除となるので農林省監督

氏二女泰子 以上  
△白銀町 熊谷田之丞氏三男鐵夫  
△北目町 當時豊間村字象渡路鈴木秋二(二二)さん  
△出前持 二十五才 尋卒 月五―六圓  
△回職を求むる方  
△荷上夫 二十七才 尋卒  
△職工 二十才 高卒  
△製糸男工 二十二才 商  
△機械工 三十二才 高卒  
△施工盤 二十三才 高卒  
△柏ヶ 二十六迄 月十圓

# 旋風的大流行の

## ボクシングボールが

澤山参りました 場所を選ばずどんな人にも出来てキケンのない面白いゲームです

普級型 金十五銭  
高級型 金三十銭  
平 驛前  
特約店 いづみや玩具店

# 中野齒科醫院

平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番  
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次  
日本齒科 醫學士 西川 誠

# 鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門 醫學士 鈴木 正男  
平町田町(電話五八番) 藤田女學校前  
自炊のお需めに應ず 入院の便あり

### 豊間村に

## 眠り病發生

### 好間村にも類似患者? 平署必死の警戒

目下各地で恐怖の的となつて居る嗜眠性腦炎が遂に平署管内に發生した豊間村大字豊間字原町六一米穀商四家藤治郎の孫家繼(八)君は去る六日以來原因不明の發熱と同時に眠り續けて居るので昨九日午後一時鈴木醫

## 収入が激増

### 平驛八月中の成績

平町の大字關平驛八月中の乗車客は五萬二千七百九十九人、降車客五萬二千九百八十八人で乗車数は六萬三千五百八十八人、減降車數千六人の減で乗降共に客數に於て減少を示してゐるが運賃は三萬八百八十三圓九十六錢で昨年同期より三千二百八十二圓十六錢の増加を示してゐる。之は遠隔の外來者並に他出者の激増を示すもので貨物は發送六千二百二十六噸、到着一萬五千六百五十八噸で發送到着共に昨年より増加し發送は七百五十六噸到着三千三百二十六噸の増であり反對に運賃は七千四百一十一圓二錢で昨年より百二十八圓五十二錢の収入減を

腸チブスの發生數多に達するので昨九日平署部落民の豫防注射を行つた

## 劍道試合

### 優者へ銘刀

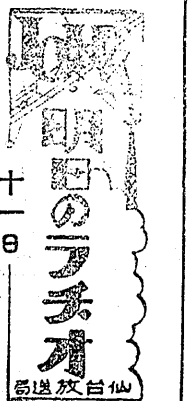
縣社飯野八幡神社の大祭はいよいよ来る十四、十五兩日に迫つたので八幡小路區では今年は特に盛大に執行すべく種々計畫中であるが尙武の御神靈に鑑み昨年より行はれた劍道大會をその昔の奉納試合と同様の盛儀とすべく社掌飯野家では秘藏の銘刀を最高点者に賞品として授與する外豊富な賞

## 煙草賣上激増

### 海水浴のお客さんで

### ホクホクの平專賣所

水戸專賣局平販賣所八月中の業績は賣上總額五萬九千九百十四圓五十八錢で昨年同期の五萬六千三百十六圓八十七錢に比し三千五百九十七圓七十一錢の増加を示してゐるその内最も需要の多いバット曉は制限があるためバット二萬千七百三十五圓、曉三千二百四十圓で昨年と大体相違なく朝日が昨年の四十九箱から七十箱に増加して二千八百三十五圓の増で次にチネリー昨年の四箱が十箱を示し八百十圓増刻煙草では秋の大が昨年の十九箱から三十箱に増し六百六十八圓の増收ハギ



明日の天気  
今夜北東の風、雨模様明日北西の風、天気よし

## 今晚の部

後六、〇〇 童話朗讀 大阪放送童話研究会  
後六、二五 青年の時間 「農村生活を歌へる」吉植庄亮  
後七、三〇 講演 「選舉正と地方自治」前田多門  
後八、〇〇 懸賞當選民話 東北民話研究会

## 置き忘れの財布を横領

### 好間でニセ坊主檢舉

山梨縣北巨摩郡鹽崎村字下今井生れ無職住所不定野口建事花岡健一(三)は去月廿四日午後八時頃好間村大字北好間字馬場前料理店鳥羽シデリ方で飲酒中傍りの客好間村字北好間阿部正記が置き忘れの五圓十錢入財布を横領して平署に突き出されたが同人は常に茨城縣某寺住職と稱し僧侶然とした堂々たる服装で詐欺を働いて居たらしく目下各地に照會して被害調査中である

## 街の素人探偵

### 若松君けふ表彰

湯本町若松友行(三)さんは去月十二日平町谷屋呉服店より八圓五十錢の釣銭と外十二件の詐欺窃盜を働いた茨城縣華川村生大友一を尾行し平署員に知らせ逮捕を容易ならしめたので本日島田警察部長より金一封と表彰を贈られた

## 一冊の代金

### 御希望通りな

## 五冊の雑誌

### 自由に讀める

## 川崎文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

## 免囚保護

### 十三日に宣傳

平自警會では来る十三日の司法保護デーに際し吉岡平刑務支所長以下各役員が街頭に進出免囚保護の宣傳ビラを通行人に配布し更に午後には小名濱、湯本、四倉の各町に自動車でビラ散布すると

## 實習生を乗せて

### 警城

小名濱水産試験場の指導船警城丸は十七日朝岩手縣沖合の秋刀魚漁調査に出航するが特に今回の調査には水

## 平裁判たより

△双葉郡請戸村大字請戸字本町番地不詳自動車運轉手木場光重(三)が七月十一日午後七時頃同村綠仙松方車庫前道路で兼て自分に悪口を言つたといふ原下某を殴り全治一週間の打撲傷を負はした事件は傷害罪で平區より略式罰金十五圓に處された



明治太平記 (作) 寺島桂史 (監) 野口松世

第二百二十二回

浪々の身 (十四)

死骸を抱いたまま、眼を瞑り眼をひらいて、陶酔のありさまをいつまでも味はつた。

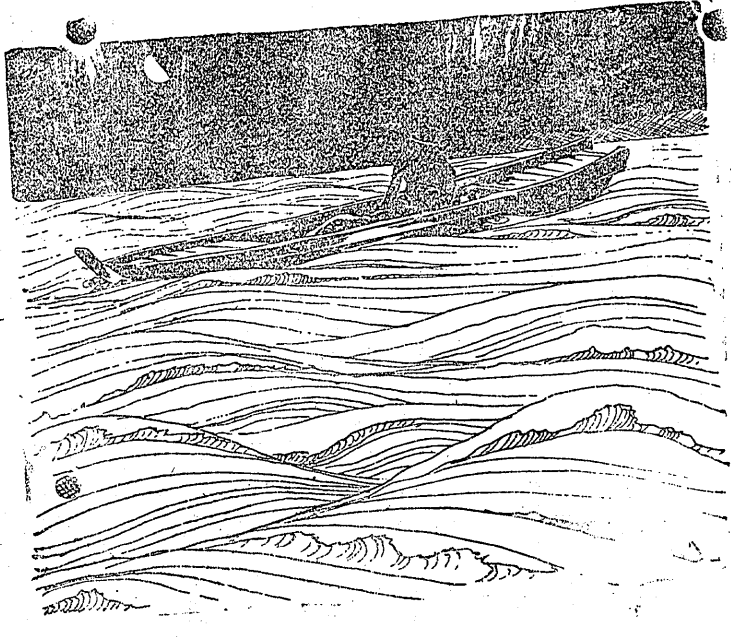
それから、彼は、振袖のまゝのおふくの死骸を横にかへて立ち上りふらふらと歩いた。彼は明るい灯の方へ二三歩あるいたが、何おもつたか急に踵を返し、海岸の方へ、よろ／＼と足を向けた。

おふくの美しい死骸を抱いたまま、海に沈もうとするのか……。

いや、實利一遍の紅毛人は、情死の感情を知らぬ。たゞ、彼は明るい街の灯から一步でも遠のいたところで、ひそかにおふくのはだを、冷たいはだのいれずみを味はうとするのだ。

が、ウエルズの眼は、そのとき、海岸に乗りすて、ある一艘の小船をみつけた。——お、あれに乗つて沖へ……。

それは、明治白浪一統の船だつたらう。芝浦の沖……。月はけだけて、いさゝか



波があつた。ウエルズと、おふくの死骸を乗せた小船は、月光の破片に戯れ、へう／＼と、笹船のやうになつてようようする。

だが、ふしぎにも、現實は、まだ／＼國際的な愛などを黙許はしない。血と血と……いや、血が凍つて、かたてしまつて、骨と皮ばかりになつてもその骨が、皮が、相觸れたと

いたまゝ、氷のやうな沈黙にひたりながら、月光に戯れる小船に身を託してゐる情景は、それはもう、現實の境を超越した美しさだつた。

が、美しさも、こゝに極まつては冷厳といつた境地だ。こみ／＼した日本、東京の首都から、幾萬里隔つた、極北の水原で冷たい心臓と心臓とが、戀の霧華を咲かしてゐるやうなもの人々は、きつと、このふたりの死と生の愛を、國際的な——國境を取りのぞいた愛の極地だといふかれない。

はたらきを、はたらきかけてゐるではないか……。人斬りの異名をとつた良順のななし、右の手だ血がかれても骨が、まだ、かたちをそなへてゐるかぎり最後の役目を果さうといふのだ。

ウエルズは、月光にそれを発見しておもはず、身顛ひした。——お！。しかし、また、大きなよろこびでもあつた。死んだおふくが、よみがへつたのだ。自分の熱愛の

おたゝかみで冷たくなつたおふくのはだに血が通ひはじめたのだ……とおもつた。——おふく、しやん。最後の憎しみの表現を、愛の誕生と感じたウエルズの胸に、さらに、もう一つよろこびが湧いた。

おふくは、自分の愛を感じたといふうれしさに加へて、この新しい愛人が雪のはだにいちめんのはりものが、かくされてあるといふ、そのよろこびだつた。これは、正しく、二重のよろこびだ。

耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院 醫學士 鈴木 正男 平町田町(電話五八番) 藤田女學校前 自炊のお需めに應ず 入院の便あり

体温計の検査日です 10日 検査 新設 お宅の体温計は? ◎確な体温計を御使用下さい ◎毎月十日の検査日を御用下さい 度量衡 指定販賣人 西村屋藥局 計量器 平・二 電 三番

株式賣買 會社資三共商事 大明 電話三六〇番

警城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四一番)

内科	院長 石山謙
小兒科	部長 藤尚輔
婦人科	部長 佐藤尚輔
産科	部長 五十嵐雄二
外科	部長 大町久藏
耳鼻咽喉科	部長 澤正
皮膚泌尿器科	部長 前山謙
花柳病科	部長 石山謙
X線科	部長 石山謙
物理療科	部長 石山謙
藥局	局長 鈴木孝平
藥劑科	局長 鈴木孝平
事務科	局長 鈴木孝平

◎病室完備 入院隨意

難波陸 內科一般 醫學博士 難波陸 看護婦募集 平町大町新川端 電 五〇二

かまぼこ 製造 杉本屋 平町一丁目 電話一四一番